

平成25年第3回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考
<p>11番 沼田松夫</p>	<p>1. 指定管理者に管理委託している物件の管理責任について</p> <p>2. 2度にわたる噴火後の入江地区の振興策について</p>	<p>(1) 建物などの維持、管理は指定管理者にあるのか。施設や構築物などの責任はだれにあるのか。</p> <p>(2) 施設内での他者に対する賠償責任については、具体的には、この冬にイルミネーションが崩壊したが、幸いにも崩壊は夜でしたが、観光客や見物者が居たときはどうなるのか。降雪、積雪の崩壊だが、その辺の対応や対策、基準は必要ではないのか。見物、鑑賞、通路の使用を中止するなどの。</p> <p>(1) 昭和52年の噴火、泥流被害後の振興策は何をしたか。入江地区にはどんな被害があったか。どう対応したか。泥流の砂防ダム(入江地区調整池)の管理、水路の管理はどうするのか。</p> <p>(2) 平成12年の噴火の後の「Cゾーン問題」に対する振興策はどうなったのか。</p> <p>(3) 町づくり計画では、入江運動公園計画は入江地区の噴火後の振興策として、位置づけたものと思うのだが違うのか。</p>	<p>①</p>
<p>13番 七戸輝彦</p>	<p>1. 防災のための講演会について</p> <p>2. いじめ防止対策について</p> <p>3. 洞爺湖温泉街の町並みの状況について</p>	<p>(1) 昨年9月の定例会において「片田先生による防災の講演会」の開催について求めたところ、強い決意で「開催を検討」との答弁をいただいた。その後話題にも登らないが、どのような動きをしたのか。進捗状況は。</p> <p>(1) 町内各校のいじめの実態について教えて頂きたい。</p> <p>(2) 9月28日「いじめ防止対策推進法」が施行されるが、これを受けての教育委員会の対応を伺いたい。</p> <p>(1) これまでの洞爺湖温泉街の空き店舗対策と成果を伺う。</p> <p>(2) 宿泊施設内での消費を建物の外に誘導する対策を考えた事はあるか。</p>	<p>②</p>

平成25年第3回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
13番 七戸輝彦		(3) 宿泊施設内の売店等の機能の一部を、商店街においていただくようお願いし、その費用の補助を考えてはどうか。	
4番 立野広志	<p>1. 政府のあらゆる分野での負担強化に対する認識と対応について</p> <p>2. 「非核平和のまち宣言」にふさわしい平和事業の推進について</p> <p>3. 世界ジオパーク認定地として、教育プログラム確立と推進について</p>	<p>(1) 政府・与党は増税計画、社会保障の負担増、原発再稼働、TPP参加推進、憲法改正など、あらゆる分野で、町民の暮らしや平和に多大な影響を与える改革を行おうとしている。町長としてこれをどのように受けとめているのか伺う。</p> <p>(2) 町民生活や町財政に対して、どのような影響が想定されると考えているのか。</p> <p>(3) 町民の命と暮らしを守り、安心して暮らせるまちづくりに責任を負う町長として、どのような対応を考えているのか。</p> <p>(1) 「悲惨な戦争を2度と繰り返してはならない」との思いは多くの町民の願いです。戦争体験者が年々少なくなる中で、戦争行為の不条理や悲惨さを次世代に引き継ぎ、同じ過ちを繰り返すことのないように努めることが、私たち大人の責務であると考えているが、町長の認識を伺いたい。</p> <p>(2) 2008年3月18日の非核平和の町宣言から5年6ヶ月経過したが、宣言にもとづく平和行政の現状と今後の展望について伺いたい。</p> <p>(3) 例えば、戦争体験者の証言の収集、戦時中の暮らしや遺品の保存と展示、学校教育や社会教育などでの啓蒙・普及の取り組み、懸垂幕の掲示、原水爆禁止世界大会などへの中高生の派遣など、できることから計画的に推進する考えはないか。</p> <p>(1) 世界ジオパークに再認定となったが、特に子供たちに向けた持続的・系統的な有珠山地域の理解と防災意識の醸成をはかる教育プログラムを確立し、世界ジオパーク認定地として一層の振興を図る考えはないか。</p>	③

平成25年第3回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考
8番 岡崎 訓	1. 公共施設の管理について 2. 安心・安全なまちづくりについて	(1) クリーンアップパークゴルフ場の管理がどの様にされているか。 (2) 親水公園の管理について。 (3) 洞爺地区温泉スタンド横の温泉タンクの外部の現状と今後の管理の考えは。 (1) 先の集中豪雨による洞爺中学校舎裏の土砂崩れの現状は。 (2) 今後の安全対策の取り組みの考えは。	④
9番 下道 英明	1. スポーツを活用した地域活性化について	(1) スポーツ観光の取り組みにより、交流人口が増えている。洞爺湖マラソン・自動車レース・トライアスロンなどの今後の大会運営の見通し、及び今後の取り組み姿勢は。 (2) 地域社会が「縮小」の時代に入っている中で、スポーツ観光の促進・推進、持続可能な運営が求められる。ボランティアスタッフを自治会、役場、各体育団体に頼る現状には、限界がある。ボランティアの対価として、地域限定でサービスを受けられる地域通貨、地域マネー等を供与し、他の地域からも募集する有償ボランティアを検討すべきでは。 (3) 東京オリンピック開催も決まり、各種スポーツ大会誘致も加熱していくことが予想される。当町においても既存の大会運営力向上に向け、高齢化が進む実行委員会をサポートする新たな外部組織の必要性を感じる。持続可能な大会運営に向け、スポーツイベント・ディレクターなどを関係団体等と検討すべきではないか。	⑤
3番 松井 保明	1. 災害時の危機管理について	(1) 気象庁の「特別警報」運用開始に伴う町としての対応は。 (2) 住民に対する情報伝達はいかなる方法で。 (3) 災害発生時における避難指示について。 (4) 内閣府指針による「避難所整備と運営」についての町としての対応は。 (5) 「特別警報」「避難所整備と運営」について町の「地域防災計画」の見直しをするのか。	⑥

平成25年第3回 洞爺湖町議会定例会一般質問

質問議員	件名	質問要旨	備考
<p>3番 松井保明</p>	<p>2. エネルギー対策について</p>	<p>(1) 新エネルギー（ソーラー発電）について町民への支援策は考えているか。 (2) 新エネルギー（地熱発電）による地域活性化としての対策はもっているか。 (3) 財政面からの光熱費の軽減を図るためにも町独自のエネルギー開発の考えは。 (4) 「洞爺湖町地域新エネルギービジョン」を今後町づくりにどう反映させるのか。</p>	